【事業名】熊本県特定外来生物スパルティナ属対策事業
【団体名】熊本県特定外来生物スパルティナ属対策協議会

平成３０年度　生物多様性保全推進支援事業
実績報告書別紙９－６

事業の背景・目的

現在、熊本県のみに生息が確認されている特定外来生物スパルティナ属の早期防除を実施することで、特定外来生物スパルティナ属により駆逐されつつある生物等の水産資源の回復を図り、もって河口・干潟本来の生態系を保全する。

事業の内容

特定外来生物防除推進事業
　平成29年度からは熊本市坪井川を優先して防除事業に取り組んでいることから、
　平成30年度も継続して同河川でのスパルティナ属の防除を実施した。
　・施工期間：H30.8.21 ～ H31.3.29
　・防除方法：防草シート設置
　・防除箇所、面積：15箇所、4,645㎡
防草シートは、昨年度の施工実績を踏まえ、鉄筋及び栗石により固定した。
ただし、一部船舶の停泊する区域においては、船舶を損傷する恐れがあるため、関係漁協等と工法を検討協議し、洗砂による固定を試験施工した。

得られた成果

・坪井川（熊本市）河口に係るスパルティナ属について、干満の差が６ｍあるなど、施工条件が厳しい中、漁協等の関係者の協力を得て現地条件に応じた防草シート工法を採用することにより、平成２９年度からの２年間で11,096㎡の防除を実施し、当初の計画期間内に全面防除することができた。
平成２８年度実施した大野川の掘削による防除単価が1㎡あたり16,800円と高額だったのに対し、防草シート工法(1㎡あたり約4,000～4,700円)の採用によりコストを縮減できた。